

カリキュラム1

タイトル

水辺の多様な命と自然の恵みを守ろう（小・中学校/理科・総合学習）

対象学年・分野

小学校 低学年	小学校 高学年	中学校	高校	社会人	学校 教育	学校外 教育	研修	社会 学習
	◎	◎		○	◎	◎	○	○

学習のねらい

- 多様な生きものたちのつながりが自然の恵みを支えている「生物多様性」、それを守る取組みについて総合的に学習。
- 田んぼやため池、干潟など身近に存在する水辺環境に注目し、小さな生きものたちやその生きものを餌とする鳥を題材に、いのちのつながり、人と生きものとの関係、自然からの恵みについて考える。

キーワード

水辺、田んぼ、小さな生きもの、絶滅、食物連鎖、外来種、ふゆみず田んぼ、田んぼの生きもの調査、ラムサール条約、自然の恵みやつながり(生態系サービス)

映像教材

映像	内容	登場する動植物・景観	【参考】学習指導要領の関連事項
①【導入】 水辺には生きものがいっぱい (time01:41)	渡り鳥の視点で、空撮による豊かな野山の自然映像を紹介、水辺にはたくさんの生きものが活動していること、田んぼも身近な水辺のひとつであることを取り上げる。	白鳥、水辺と鳥類、都市風景、農村部風景(空撮)、田んぼ	小3(身近な自然の観察) 中1(生物の観察)
②【問題設定】 田んぼに暮らす生きものたち (time01:36)	水辺の小さな生きものたちの貴重な映像を通して、田んぼ(水辺)には、6000種もの生きものが生息していることを紹介。近年、田んぼ(水辺環境)が減っている問題を取り上げる。	水辺の昆虫(ゲンゴロウ、オタマジャクシ、カエル等)、生きものを捕食する鳥、田んぼ	小3(身近な自然の観察) 中1(生物の観察)
③【基礎知識】 絶滅って何？ (time02:45)	様々な動物たちの映像を通して、地球上のたくさんの生きものが絶命の危機に直面していることを紹介。後半では、なぜ生きものが絶滅の危機に瀕しているか。人間の活動、および外来種の問題を取り上げる。	メダカ、野生動物(陸・水)、都会風景、サバンナ、ジャンボタニシ(外来種)、ミドリガメ(外来種)	中3(生物と環境/自然界のつりあい・外来種)
④【応用知識】 いのちのつながりって何？ (time02:51)	命ある生きものたちの間の捕食関係から食物連鎖を紹介。生きものが互いにつながっていることにより、人間も多くの恵みを受けていることを確認し、すべての命ある自然を守ることの大切さを取り上げる。	森林風景、田んぼ、花と昆虫(ミツバチ)、食物連鎖概念図	小6(生物と環境/捕食関係) 中3(生物と環境/自然界のつりあい)
⑤【展開・まとめ】 ふゆみず田んぼが大切な理由 (time03:06)	冬にも水を張り、水辺の生きものたちの棲みかとなる「ふゆみず田んぼ」を紹介。「たんのぼの生きもの調査」では、様々な水辺の生きものが見つかること、田んぼの土も生きものによってつづられていることを学ぶ。東日本大震災の田んぼの復旧風景などを取り上げる。	冬の田んぼ、NPOインタビュー、生きもの調査の様子	理科:身近な自然の観察、生物の観察 社会:特色ある地域、地域の生活環境を守るための活動
⑥【展開・まとめ】 生きもの豊かな自然を守ろう (time02:16)	渡り鳥をはじめ、多様な生きものたちの命を支える水辺環境が必要なことを説き、湿地を保全するための国際的な約束「ラムサール条約」を紹介。生きものとの人間は互恵関係にあり、水辺の生きものたちの命を支える場所は、米作りなど人間も恩恵を受けていることを取り上げる。	渡り鳥、多様な水辺の風景(空撮)、琵琶湖・尾瀬、水辺の生きもの	中3(生物と環境/自然界のつりあい)

●教材活用時ポイント●

- 映像を利用した教室での学習のほかに、各学校周辺の水辺環境(田んぼ、ため池、河川、湖沼、入江等)の現地見学、生きもの調査等のフィールド学習を組合せると一層の理解に進めることができる。